要項様式第１号別紙１【記入上の注意】

ＮＰＯ等による復興支援事業費補助金　応募事業の概要（復興枠）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 整理番号 | (１)‐　　　　　　　　　　※　補助事業者は記載不要 | |
| 事業名 |  | |
| 応募事業者と  役割分担 | 事業者名 |  |
| 協議体又は会議組織の体制、役割分担 | ※　全ての構成員とその役割について記載 |
| 地方自治体との連携方法 | 自治体との連携方法について、具体的に記載してください。 |
| 実施期間 | 年　　月　　日　～　　　　年　　月　　日  「チェック」と入力し変換キーを押すとレ点が表示されます。 | |
| 事業内容と  スケジュール | 事業の区分 | ※複数にチェック可  □ア：被災者の心のケア、健康・生活支援に向けた取組  □イ：コミュニティ形成等の復興に向けた取組  □ウ：原子力災害からの復興に向けた取組  □エ：復興・被災者支援を行う NPO等に対する中間支援の取組 |
| 事業概要 | ※　事業の概要が分かるように、100～150字程度で簡潔にまとめて記載  「誰」を対象に（本事業の受益者は誰か）、「何」を「どうするのか」について記載してください。 |
| 事業の背景  ・目的 | ※　事業の必要性が分かるように記載  【背景】  事業の必要性が分かる社会的背景や解決したい課題等を記載してください。 |
| 【目的】  本事業の直接的な成果目標ではなく、団体が実現しようとする最終目的や中長期（3年程度）の成果目標（アウトカム）を記載してください。 |
| 事業の成果  目標 | * 客観的な達成状況の測定が可能となるよう、定量的な目標値を積極的   に記載。   * 成果目標の設定に当たっては、個々の事業内容の進捗度を測るアウト   プット目標（例：実施回数、参加者数、支援者数等）にとどまらず、できる限り、個々の事業内容によって発現する効果を測るアウトカム目標を記載。  ・本事業の直接的な成果目標（アウトプット）について記載  　（例）実施・開催回数、利用者数、支援者数、情報発信数、情報リーチ数・・・  ・本事業による初期の成果目標（アウトカム）について記載  　（例）〇〇に意欲的な人が増える、地域内の交流が増える、組織の運営力が向上する・・・ |
| 実施計画 | ※　実施する活動について、内容、実施年月日、実施場所、参加者数（の予定）が分かるように記載  ※　前年度採択団体で同様の取組を実施する場合は、前年度の取組から発展した部分が分かるように記載 |
| 実施体制  （直接、委託、助成など） |  |
| 経費 | ※　経費の内訳（人件費、諸謝金、旅費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、使用料及び会場借料、委託費等）について記載  【例】  (１)　○○○のための○○○に係る経費  内訳　○○○○、○○○○  (２)　○○○のための○○○に係る経費  内訳　○○○○、○○○○  (３)　○○○のための○○○に係る経費  内訳　○○○○、○○○○　・・・ | |
| 31年度以降  の活動計画 | ※　今後の活動計画について、将来的にも持続可能な事業となるための資金調達予定や多様な主体との連携・協働の計画があるかも含めて記載 | |
| 備考 | ※　補助事業者は記載不要 | |

注　各記入欄は、必要に応じて拡大すること。